

## 2021年度事業計画

(一社) 日本身体障害者アーチェリー連盟

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により東京2020パラリンピック競技大会が1年延期され、同時に国内試合・国際大会の相次ぐ延期・中止と非常に厳しい1年になった。内定維持選手が急逝するという悲劇もあった。今年度は、パラリンピックはもちろんのこと、パラリンピック後を見据えた計画構築・組織運営が求められる。

連盟の目標である「参加するすべての国際大会において継続的なメダル獲得」これはもちろん今年度最大の行事であるパラリンピックにおいても同様であり、東京2020パラリンピック競技大会ではメダル3個、入賞5個を目標に掲げている。そのための強化・サポートに万全を期す。

2020年度は感染症拡大防止のため、強化合宿も軒並み中止または任意参加とせざるを得なかった。パラリンピックまで残された時間は多くはないが、個々の強化選手の不断の努力はもちろんとして、連盟としてもオンラインの積極的な併用やきめ細やかなヒヤリング等により、各々の選手の環境・状況や特性に合ったオーダーメイドの強化・サポート体制を再構築し、チーム一丸となって目標を達成できるような雰囲気作りをしてゆくことが必要となる。

東京大会が終わると3年足らずで次のパリ大会となる。強化選手のみならず次世代候補育成や競技そのものの普及を含め、国として系統だった指導・戦略を構築することが改めて必要とされる。

また、昨年度は、強化・育成・普及いずれにおいても、トップ選手の活躍する機会を作らなければ競技団体としての価値にも大きな影響があることを痛感した年でもあった。特に大会の開催にはより多くのボランティアの力が必要となることもあり、開催に消極的になってしまった面は否めない。そのため、2021年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を徹底した上で、可能な限り自力かつ積極的に大会開催を実施してゆく。

そしてアーチェリーは、パラリンピック発祥の競技でもあり、なおかつ、障害あるなしに関わらずほぼ同一のルールで一緒に戦い、かつ、一緒に楽しむことができるため、現場ではごく自然な形で共生社会が実現しているスポーツでもある。各種ステークホルダーに敬意を払いつつ、そういったアーチェリーそのものの「価値」を広く世間に再認識していただけるよう、全国各地の会員の意見も取り入れながら広報戦略を進める。

なお2021年度はガバナンスコード適合性審査の審査対象となっており、連盟自体でもパラリンピックそしてその後を見据えた意識改革が図られつつあり、大幅な組織改編・改革が行われる予定である。

### 【国内事業】体制整備事業

国内事業では全国選手権大会2大会を主催し、地域での6大会を後援している。

- 連盟主催大会：第50回文部科学大臣争奪フェニックス大会（大阪府）  
第7回JPAF杯トーナメント大会（埼玉県）

- 後援大会：全国各ブロックで開催する競技大会をサポートすることにより、競技の普及並びに会員の

拡大を図っていく。

- 1 第 41 回近畿・第 12 回東海身障大会（大阪府／ファインプラザ大阪） 予定
- 2 第 45 回のじぎく杯（兵庫県／神戸市） 予定
- 3 第 46 回九州身障大会（鹿児島県／鹿児島市） 予定
- 4 第 42 回関東甲信越大会 予定
- 5 第 43 回中国・四国大会 予定
- 6 第 44 回火の国杯（熊本県／菊陽町） 予定

■ 連盟独自の記録会開催を模索する。

#### 【国際大会派遣】選手強化事業

連盟の強化方針でもある「参加するすべての国際大会において継続的なメダル獲得」を目指す。

- 1 世界最終予選トーナメント大会（チェコ） 2021 年 7 月 4 日から 7 月 11 日  
東京 2020 パラリンピック大会の最終予選であり、コンパウンドオープン男女の出場枠獲得のチャンスがある。
- 2 東京 2020 パラリンピック競技大会（東京都／夢の島） 2021 年 8 月 24 日から 9 月 5 日  
メダル 3 個、入賞 5 個を目標としている。
- 3 アーチェリー世界選手権ドバイ大会 2021 年 2 月 21 日から 2 月 28 日  
次世代選手の登竜門としての位置づけもある。

#### 【国内強化合宿】選手強化事業

強化指定選手強化合宿を主に NTC イーストアーチェリー場で実施する

- 1 第 1 回強化指定選手強化合宿（NTC イースト） 4/5～4/11
- 2 第 2 回強化指定選手強化合宿（NTC イースト） 5/18～5/24
- 3 第 3 回強化指定選手強化合宿（NTC イースト） 6/21～6/27
- 4 第 4 回強化指定選手強化合宿（NTC イースト） 8/10～8/21
- 5 第 5 回強化指定選手パラ直前合宿（NTC イースト） 10/4～10/9
- 6 第 6 回強化指定選手強化合宿（NTC イースト） 11/23～11/28 変更の可能性あり
- 7 第 7 回強化指定選手強化合宿（NTC イースト） 12/13～12/18

#### 【国内クラス分け・セミナー】体制整備事業

アーチェリー競技規則（WA 競技規則）に掲載に伴い、未保有者の国内クラス分けを全国的に実施していく。年間約 30 名の国内クラス分けテストを大会日程に合わせて実施する。また、国内クラス分けにおけるクラシファイアー（委員）養成のセミナーを実施する。

- 1 愛媛会場（サン・アビリティーズ今治）中国四国地域の合同 日程未定
- 2 JPAF 杯トーナメント大会（埼玉県障害者交流センター）10/16～10/17（土・日）
- 3 文部科学大臣争奪フェニックス大阪大会（堺市ファインプラザ）11/13～11/14（土・日）

#### 【会議体】体制整備事業

2021 年度は定款改正を含め大幅な組織改編を行う予定である。

臨時理事会：5 月末 NTC イーストミーティングルーム（東京都／北区）未定

社員総会：6 月中旬（会場未定又はリモート）

前期理事会：10 月予定（会場未定又はリモート）

後期理事会：2021 年 3 月 日（土）開催（名古屋駅）予定

理事ミーティング：リモートにて随時開催

#### 【広報】体制整備事業

ホームページ・SNS の戦略的な活用により、パラアーチェリーのファンづくりを進めてゆく。パラリンピックに伴う注目度の上昇を活かすべく、サポーター制度の導入も検討している。

また、ステークホルダーの皆様には、障害あるなしに関わらずほぼ同一のルールで一緒に戦うことができ、かつ、一緒に楽しめる、共生社会の体现のひとつとも言えるアーチェリーそのものの魅力も再度訴えてゆく。また、パラアーチェリーは 1964 東京パラリンピックでポスターに採用されていた種目である。現役選手のみならず、過去の選手にもインタビューを行い、歴史として残してゆく。

#### 【スポンサー獲得】体制整備事業

今年度も厳しいとは思いますが、1 社を目標としたい。選手の活躍やアーチェリー・パラアーチェリーの魅力を積極的に発信してゆく。

#### 【普及・育成】体制整備事業

・国内事業では全国選手権大会 2 大会を主催し、地域での 6 大会を後援している。

昨年予定していた PASS 企画を実行したい。「会場に来てオリジナルグッズをもらおう」を実施する。

・第 50 回文部科学大臣争奪フェニックス大会（大阪府）が今年のワンクリック募金（ENEOS 様）に採用していただいた。新型コロナウイルス感染症の状況にも夜が、オンラインの駆使等創意工夫によ

り多くの観客の皆様楽しんでいただけるような大会にしたい。

- ・競技委員会の中に強化部とともに普及部を設置し、両者を連動させ、各地域の選手発掘・育成をサポートできるような系統立った底上げ体制を構築してゆく

- ・審判部の創設に伴い、連盟内の審判資格保持者のネットワークづくりを行い、今後の大会運営に活かす。

#### 【ガバナンスコード】体制整備事業

今年度が日本身体障害者アーチェリー連盟のガバナンスコード適合性審査年度に当たるので、ガバナンス担当を中心に組織運営等に関する基本計画を策定している。これを機会に大幅な組織改編を進め、パラリンピック後そして未来に向け盤石な組織体制を構築する。